



## 2021年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月14日

上場会社名 株式会社 松屋

上場取引所 東

コード番号 8237 URL <http://www.matsuya.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 秋田 正紀

問合せ先責任者 (役職名) 総務部コーポレートコミュニケーション課 課長 (氏名) 関 泰程

TEL 03-3567-1211

四半期報告書提出予定日 2021年1月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年2月期第3四半期の連結業績(2020年3月1日～2020年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	36,608	45.4	3,221		3,294		5,429	
2020年2月期第3四半期	67,072	0.3	530	44.0	542	42.6	384	50.5

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期 4,242百万円 ( %) 2020年2月期第3四半期 200百万円 ( 85.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	102.30	
2020年2月期第3四半期	7.27	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第3四半期	58,313	16,521	28.3	311.20
2020年2月期	57,823	20,897	36.1	394.09

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 16,521百万円 2020年2月期 20,877百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期		3.50		4.50	8.00
2021年2月期		0.00			
2021年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年2月期の期末配当金の内訳 普通配当3円50銭 記念配当1円00銭

### 3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,500	43.8	4,400		4,500		6,500		122.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期3Q	53,289,640 株	2020年2月期	53,289,640 株
期末自己株式数	2021年2月期3Q	199,474 株	2020年2月期	314,394 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期3Q	53,079,627 株	2020年2月期3Q	52,975,251 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)	経営成績に関する説明	2
(2)	財政状態に関する説明	3
(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1)	四半期連結貸借対照表	4
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	四半期連結損益計算書	
	第3四半期連結累計期間	6
	四半期連結包括利益計算書	
	第3四半期連結累計期間	7
(3)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
	(継続企業の前提に関する注記)	8
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
	(追加情報)	8
	(セグメント情報等)	9
	(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期(2020年3月1日～2020年11月30日)におけるわが国経済は、現政権下での総合経済対策による景気減速への対応が進む一方、景気は新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により、依然厳しい状況のうちに推移いたしました。

百貨店業界におきましても、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた営業時間の短縮や臨時休業に加え、世界各国の出入国規制によりインバウンド売上がほぼ消滅したことにより、東京地区百貨店売上高は前年実績を大幅に下回りました。

こうした状況の中、当社グループでは、前3ヵ年計画の反省と成果を踏まえつつ、2019年11月に創業150周年を迎えた本3ヵ年は、「中期経営計画『デザインの中の松屋』(2019～2021年度)」において、当社が世の中に対して実現したいことを「デザインによる、豊かな生活。」であると定め、その実現に向けた重点施策に取り組み、業績の向上を目指してまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症による経済への影響が極めて深刻になる中、百貨店業をはじめとする当社グループの売上高は、前年実績を大幅に下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は36,608百万円と前年同四半期に比べ30,464百万円(△45.4%)の減収となり、営業損失は3,221百万円と前年同四半期に比べ3,752百万円の減益、経常損失は3,294百万円と前年同四半期に比べ3,836百万円の減益、親会社株主に帰属する四半期純損失は5,429百万円と前年同四半期に比べ5,814百万円の減益となりました。

#### <百貨店業>

百貨店業の銀座店では、中期経営計画の重点施策の下、個性的な百貨店「GINZA スペシャルティストア」のさらなる進化を推進すべく、当第3四半期におきましては、2020年8月に実施いたしました地下1階洋菓子売場をはじめとした改装の効果を高めつつ、引き続き、他フロアとの品揃えのグレードとテイストの統一と、さらなる利便性と買廻り性の向上に尽力してまいりました。

一方、免税売上高につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による世界各国の出入国規制により、売上高は前年実績を大幅に下回りました。

催事におきましては、「いいかも?新・生活様式」を開催し、コロナ禍において大きく様変わりした生活を、より豊かに楽しむための様々な商品を提案する等、独自性と話題性のある企画によって集客力を高め、売上の向上に努めてまいりました。

浅草店におきましては、引き続き、入居する商業施設「EKIMISE」との相乗効果の発揮に取り組み、施設内を買い廻るお客様の需要を取り込むプロモーションの強化や、地元浅草の老舗等と連携し、お客様への積極的な商品提案やおもてなしを強化する等、業績の向上に尽力してまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響等が要因となり、売上高は前年を下回る結果となりました。

以上の結果、百貨店業の売上高は32,757百万円と前年同四半期に比べ28,169百万円(△46.2%)の減収となり、営業損失は2,563百万円と前年同四半期に比べ3,224百万円の減益とな

りました。

<飲食業>

飲食業のアターブル松屋グループにおきましては、主力となる婚礼宴会部門において、「東京大神宮マツヤサロン」を中心に婚礼組数の獲得に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染拡大等の影響を受け、婚礼・宴会の中止等が相次ぎ、売上高・営業利益とも前年を下回りました。

以上の結果、飲食業の売上高は 1,899 百万円と前年同四半期に比べ 1,792 百万円(△48.6%)の減収となり、営業損失は 505 百万円と前年同四半期に比べ 327 百万円の減益となりました。

<ビル総合サービス及び広告業>

ビル総合サービス及び広告業の(株)シービーケーにおきましては、新型コロナウイルス感染拡大等の影響を受け、宣伝装飾部門、建装部門の受注案件等の縮小を余儀なくされ、売上高・営業利益とも前年を下回りました。

以上の結果、ビル総合サービス及び広告業の売上高は 3,014 百万円と前年同四半期に比べ 1,153 百万円(△27.7%)の減収となり、営業損失は 97 百万円と前年同四半期に比べ 138 百万円の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ、490 百万円増加し 58,313 百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金 557 百万円の増加等によるものであります。負債合計は前連結会計年度末に比べ、4,866 百万円増加し 41,792 百万円となりました。これは主に借入金 3,428 百万円の増加等によるものであります。純資産合計は利益剰余金 5,668 百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ 4,376 百万円減少し 16,521 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の通期連結業績予想につきましては、2020年10月15日付の「2021年2月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」における業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,164	2,582
受取手形及び売掛金	3,644	4,201
たな卸資産	2,080	2,065
その他	1,587	710
貸倒引当金	△2	△16
流動資産合計	9,474	9,544
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,936	10,466
土地	18,102	18,102
その他(純額)	397	482
有形固定資産合計	29,436	29,051
無形固定資産		
借地権	9,379	9,379
その他	389	608
無形固定資産合計	9,769	9,988
投資その他の資産		
投資有価証券	7,395	7,946
その他	1,758	1,794
貸倒引当金	△10	△11
投資その他の資産合計	9,142	9,729
固定資産合計	48,348	48,769
資産合計	57,823	58,313
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,550	6,503
短期借入金	8,021	12,110
未払法人税等	89	25
賞与引当金	179	29
商品券等回収損失引当金	394	478
ポイント引当金	85	87
その他	5,225	6,552
流動負債合計	20,545	25,787
固定負債		
長期借入金	13,475	12,814
環境対策引当金	29	29
退職給付に係る負債	795	689
その他	2,080	2,470
固定負債合計	16,380	16,004
負債合計	36,925	41,792

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,132	7,132
資本剰余金	5,482	5,411
利益剰余金	6,973	1,305
自己株式	△428	△252
株主資本合計	19,160	13,596
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,013	3,203
退職給付に係る調整累計額	△296	△278
その他の包括利益累計額合計	1,717	2,925
非支配株主持分	20	—
純資産合計	20,897	16,521
負債純資産合計	57,823	58,313

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
売上高	67,072	36,608
売上原価	51,791	28,842
売上総利益	15,281	7,766
販売費及び一般管理費	14,750	10,987
営業利益又は営業損失(△)	530	△3,221
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	87	81
債務勘定整理益	117	125
受取協賛金	52	30
その他	44	46
営業外収益合計	302	283
営業外費用		
支払利息	154	175
商品券等回収損失引当金繰入額	95	150
その他	40	30
営業外費用合計	290	356
経常利益又は経常損失(△)	542	△3,294
特別利益		
投資有価証券売却益	22	—
助成金収入	—	582
特別利益合計	22	582
特別損失		
固定資産除却損	96	23
減損損失	—	71
投資有価証券評価損	—	1,003
臨時休業による損失	—	1,636
その他	2	1
特別損失合計	98	2,737
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	467	△5,448
法人税、住民税及び事業税	36	19
法人税等調整額	48	△18
法人税等合計	85	1
四半期純利益又は四半期純損失(△)	381	△5,450
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	△20
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	384	△5,429



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	381	△5,450
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△211	1,189
退職給付に係る調整額	29	18
その他の包括利益合計	△181	1,207
四半期包括利益	200	△4,242
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	203	△4,221
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	△20

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当連結会計年度の第2四半期報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について、重要な変更はありません。

なお、本感染症による影響は不確定要素が多く、今後の感染拡大の状況によっては当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	百貨店業	飲食業	ビル総合 サービス 及び 広告業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	60,715	3,537	2,274	66,527	544	67,072	—	67,072
セグメント間の内部 売上高又は振替高	211	154	1,893	2,258	606	2,865	△2,865	—
計	60,926	3,692	4,167	68,786	1,151	69,937	△2,865	67,072
セグメント利益又は 損失(△)	660	△178	40	522	40	562	△32	530

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、用度品・事務用品の納入、OA機器類のリース、保険代理業、輸入商品の販売、商品販売の取次ぎ、商品検査業務等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△32百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	百貨店業	飲食業	ビル総合 サービス 及び 広告業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	32,596	1,873	1,721	36,192	416	36,608	—	36,608
セグメント間の内部 売上高又は振替高	160	25	1,292	1,478	435	1,913	△1,913	—
計	32,757	1,899	3,014	37,670	851	38,522	△1,913	36,608
セグメント利益又は 損失(△)	△2,563	△505	△97	△3,167	9	△3,157	△63	△3,221

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、用度品・事務用品の納入、OA機器類のリース、保険代理業、輸入商品の販売、商品販売の取次ぎ、商品検査業務等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△63百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(投資有価証券の売却)

当社は、保有する投資有価証券の一部を2020年12月3日に売却いたしました。

1. 投資有価証券売却の理由

保有資産の有効活用をはかるため

2. 投資有価証券売却の年月日

2020年12月3日

3. 投資有価証券売却の内容

売却株式：上場株式1銘柄

投資有価証券売却益：1,926百万円

(連結子会社間の合併および当該連結子会社の希望退職者募集)

当社は2020年12月21日開催の取締役会において、連結子会社間の合併および当該連結子会社の希望退職者の募集を行うことを決議いたしました。

1. 連結子会社間の合併の目的

当社の連結子会社であるアターブル松屋グループは、婚礼宴会事業を主力として運営しておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、婚礼宴会のキャンセルが相次ぐ等、業績は非常に厳しいものとなっております。

このような環境下、同グループでは構造改革を実施し、不採算店舗の撤退等により効率化を進めておりますが、業績改善のための更なる効率化のために、現在のホールディングスカンパニー体制を見直し、アターブル松屋グループ4社を合併することといたしました。

また、不採算店舗の撤退等に伴い、要員の適正化を図る必要があることから、当該グループにおきまして、希望退職者の募集を行うことといたしました。

2. 連結子会社間の合併の概要

(1) 対象会社

(株)アターブル松屋ホールディングス・(株)アターブル松屋・(株)アターブル松屋フードサービス・(株)アターブルーイーピーエヌの計4社

(2) 合併の日程

合併方針の承認決議（当社）	2020年12月21日
合併契約締結取締役会（当事会社）	2021年2月22日（予定）
合併契約締結日	2021年2月22日（予定）
合併契約承認株主総会（当事会社）	2021年3月11日（予定）
合併期日（効力発生日）	2021年4月1日（予定）

(3) 合併方式

(株)アターブル松屋ホールディングスを存続会社とする吸収合併方式で、(株)アターブル松屋・(株)アターブル松屋フードサービス・(株)アターブルイーピーエヌは解散いたします。

なお、(株)アターブル松屋ホールディングスは、当該合併の効力発生後、「(株)アターブル松屋」に商号変更いたします。

(4) 合併に係る割当の内容

存続会社は消滅会社の発行済全株式を所有しているため、株式その他の金銭等の交付は行いません。

(5) 消滅会社の新株予約権および新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

3. アターブル松屋グループ希望退職募集の概要

- (1) 対象者 2021年3月31日時点において、勤続3年以上且つ45歳以上63歳以下の社員・定年嘱託
- (2) 募集人員数 30名程度
- (3) 募集期間 2021年2月10日から2021年2月26日
- (4) 実施日 2021年3月31日
- (5) 優遇措置 退職者に退職加算金を支給の上、希望者に対しては再就職支援サービスの提供を行います。